

国際P2M学会 2021年度 春季研究発表大会プログラム(Web開催)
 2021年4月18日(日) 開催校:慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
 大会テーマ「超VUCA時代の社会変革とプログラムマネジメント」

研究発表(発表者・連名者・研究タイトル)一覧(3月1日現在)(順不同)

(注)今後、一部内容変更が生じる可能性があります。

NO.	発表者	連名者	タイトル
1	重藤さわ子		事業構想とプログラムマネジメント 事業構想大学院大学の実践をふまえた一考察
2	谷口邦彦		SDGs実現に向けた地方自治体の政策に関する ～個人個人の行動変容を促進する懸け橋機能の視点から～考察
3	新保利弘	西村秀和	化学企業の生産性向上のためのプログラムマネージャの役割
4	市田明子	当麻哲哉	公務職場の活性化のための職場と管理職の在り方
5	玉木欽也	佐久田博司、ZHENG ZHOUHUA、新目真紀	P2Mを適用したプロジェクト型学習とアクティブラーニングを融合したオンライン教育方法の実証と今後の研究課題
6	岡田久典	中川唯、山本和博	新規大規模地域産学民連携プログラムの生成
7	山本百合子	永井祐二、岡田久典、山崎晃	P2Mフレームワークを用いた民間環境助成金における新たな評価指標の提案
8	富田欣和		高等学校における入学志願者増加施策立案のためのフレームワークの構築
9	新目真紀	玉木欽也	P2Mを適用したプロジェクト学習におけるアダプティブラーニング環境の有効性に関する考察
10	島山千東路		PBL におけるプロジェクト達成の意味とデザイン系学生の役割に関する考察
11	関口幸治	岡田公治	ビジネスエコシステムを考慮したビジネスモデル変革方法論/プロセスの研究 —ビジネスエコシステムにおけるビジネス境界面分析手法の提案—
12	近藤卓	風見正三	P2M理論を用いたまちづくりにおけるプロファイリングマネジメントのモデル検証 ～被災地復興事業における小学校の統廃合移転を事例として～
13	山本秀男		デジタル経済環境における技術開発プログラムマネジメントの考察
14	木村富也	中野冠	P2Mフレームワークに見える化学法を用いた製品間接コスト改善における組織間コミュニケーション形成のモデルの提案
15	中川唯	永井祐二、岡田久典	地域の持続性確保に向けた自治体の取組体制におけるP2Mの提案
16	東海林伸篤		地域活性化に資する官民連携事業におけるプログラムマネージャーの役割
17	味元怜瑳	倉斗綾子、西田絢子	自発的住民活動におけるプラットフォームの役割と個人個人の活動意欲の関係性に関する考察
18	貴島文緒		情報通信業で働くITエンジニアの転職希望意識について
19	細川元	赤澤智津子、西田絢子	デザイン教育におけるPBLでの効果的な学習に関する考察 —ルーブリックを用いた評価プロセスが学習効果に与える影響—
20	五百木誠	日比谷孟俊、前野隆司	新しい価値を創造するPBLコースのマネジメント —社会人大学院における「システム×デザイン思考」の実践と評価—
21	西田絢子	加藤智之、越島一郎、梅田富雄	デザイン思考に基づくP2Mの考察
22	佐藤達男		スペキュラティブ・デザインの応用による問題提起型のプログラムマネジメント
23	永井祐二	中野健太郎、大久保敏宏、小山田大和	地域循環共生圏構築におけるP2M～木質バイオマス利活用計画を事例として～
24	沖浦文彦		大規模な社会構造変革の取り組みにおけるP2Mの特徴と役割の考察 ～「スーパーシティ構想」による都市の抜本的構造変革に向けた取組みに関する検討～
25	橋本雄大	田隈広紀	ナッジ型フレームワークを用いた著作権侵害防止の意識向上手法の提案
26	渡辺今日子	俵谷俊彦、富田欣和、白坂成功	高校生参加型プロジェクトによる部活動問題解決に向けたフレームワークの構築
27	エド・はるみ		組織の最小単位である「個」の発展を3Sモデルで目指して